

# 乾式クラッチカバーセット TYPE-R (ワイヤー式) 取扱説明書

製品番号 02-02-0031

適応車種	Monkey/Gorilla(6V)	(Z50J-1300017 ~ 1805927)
	Monkey(12V)	(Z50J-2000001 ~ ) (AB27-1000001 ~ 1899999)
	Monkey(FI)	(AB27-1900001 ~ )
	Gorilla(12V)	(Z50J-2500001 ~ ) (AB27-1000001 ~ 1899999)
適応条件	乾式クラッチカバーキット TYPE-R 取り付け車	

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。

使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。

万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

## ☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

◎当製品は、上記適応車種の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。

◎当製品の取り付けには、予め乾式クラッチカバーキット TYPE-R が装着されている必要があります。当製品のみでの取り付けは出来ませんのでご注意ください。

◎分解作業は上記適応車種にあった純正サービスマニュアルを必ず参照し確実に行って下さい。

◎この説明書やサービスマニュアルは、基本的な技能や知識を持っている人を対象としていますので、技能や知識を持っていない人が作業を行なった場合、正しく組み付け出来ない場合があり、部品を破損させる場合がありますので、ご注意ください。

◎フリクションディスク等に水分が付着すると腐食し、クラッチの機能を果たさなくなります。雨天走行、洗車等の後には、フリクションディスク、クラッチプレート等に付着した水分を必ず拭き取り、十分に乾燥させて下さい。また、梅雨等の湿気の多い時期の保管は、フリクションディスク、クラッチプレート等の貼り付きを防ぐためクラッチを切って保管して下さい。

## ～特徴～

○クラッチカバーはアルミ材を削り出し、アルマイト処理を施しています。又、ベンチレーションホールを設ける事により冷却効果を高めています。

**注意** この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

■作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）

■作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）

■規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。（ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。）

■製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）

■走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。（部品の脱落の原因となります。）

**警告** この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■技術、知識等が無い方は、作業を行わないで下さい。（部品破損等の原因により、転倒、事故につながる恐れがあります。）

■クラッチアウター等の回転部分をクラッチカバーに設けた冷却ホールより触れる事が出来ませんが、エンジン回転中は絶対に覗き込んだり、触れたりしないで下さい。

又、車両に乗られる場合は、足等を保護し、クラッチの回転部分に巻き込まれないような服装をして下さい。

（転倒等の事故、ケガ、火傷の原因となります。）

■エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）

■走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）

■作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）

■点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。

（不適切な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）

■点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。（事故につながる恐れがあります。）

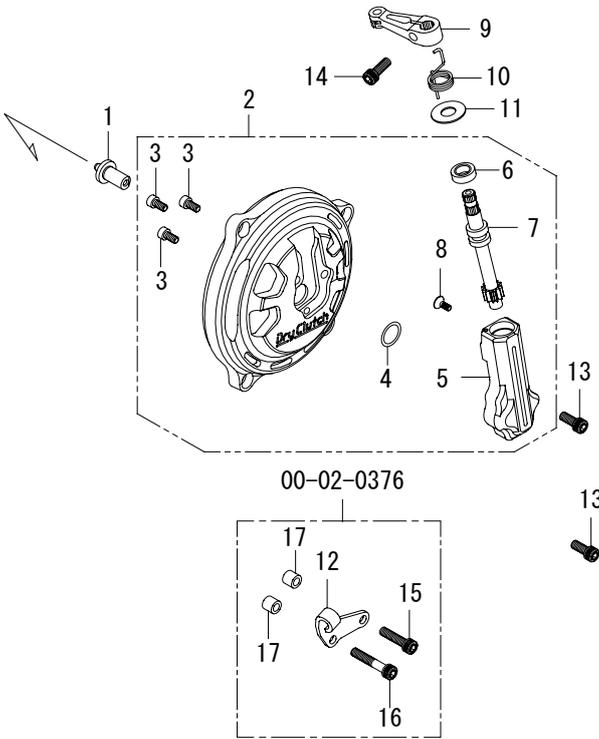
◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。

但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

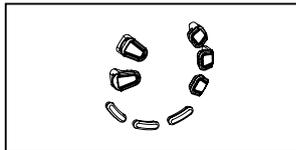


番号	部品名	個数	リペア品番
1	レリーズラック	1	00-00-1758
2	クラッチカバー COMP.	1	00-02-0139
3	ローヘッドボルト 5x10	3	00-00-0616 (5ヶ入り)
4	Oリング 12.5mm	1	00-00-0617 (3ヶ入り)
5	レリーズユニット	1	00-02-0145
6	オイルシール 10x17x5	1	00-02-0006
7	クラッチレリーズピニオン	1	00-02-0033
8	フラットヘッドスクリュー 4x10	1	00-00-0190 (6ヶ入り)
9	レリーズアーム	1	00-00-1668
10	クラッチアームスプリング	1	00-00-1672
11	プレーンワッシャ 10mm	1	00-00-0618 (10ヶ入り)
12	クラッチケーブルレシーバー	1	
13	ソケットキャップスクリュー 6x15	4	00-00-0718 (5ヶ入り)
14	ソケットキャップスクリュー 6x18	1	00-00-0720 (5ヶ入り)
15	ソケットキャップスクリュー 6x25	1	00-00-0722 (5ヶ入り)
16	ソケットキャップスクリュー 6x35	1	00-00-0724 (5ヶ入り)
17	カラー	2	00-00-1967

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご注文下さい。  
品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。  
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

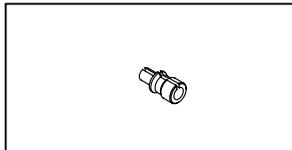
オプション部品

02-02-0080

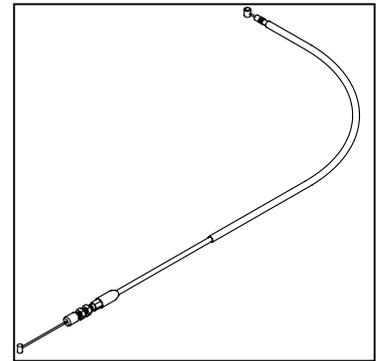


キャップセット  
(ワイヤー式カバー用)  
雨天走行や洗車時にクラッチ  
カバーの開閉部に取り付ける事で  
水の浸入を軽減します。  
又、乾式クラッチ特有の騒音を  
和らげる効果があります。

00-02-0213



クラッチケーブルアダプター  
ノーマルクラッチレシーバーにクラッチ  
ケーブル COMP. を取り付ける際に  
使用します。

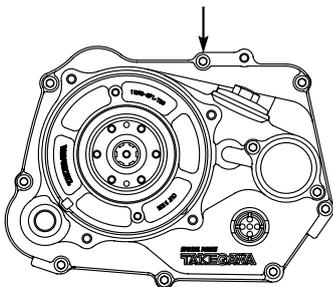


クラッチケーブル COMP.  
730mm:00-02-0132  
850mm:00-02-0133  
910mm:00-02-0107

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

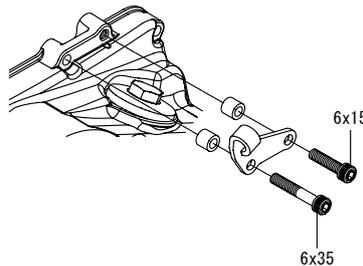
(ケーブルレシーバーの取り付け)

○R. クランクケースカバー COMP. を取り付けて  
いるソケットキャップスクリューの内1本を  
外します。



○クラッチケーブルレシーバーとR. クランクケース  
カバー ASSY. の間にカラー (2個) を挟みキャップ  
スクリューで取り付け、規定トルクで締め付け  
ます。

⚠注意: 必ず規定トルクを守る事。  
キャップスクリュー  
トルク: 10N・m (1.0kgf・m)



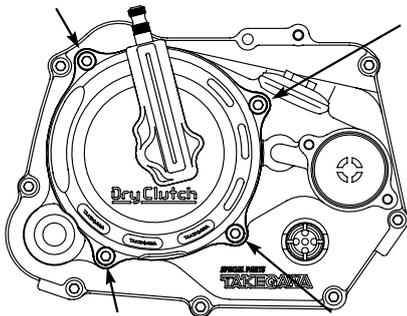
(クラッチカバーの取り付け)

○レリーズラックにマルチパーパスグリス等を  
塗布し、クラッチカバー COMP. に取り付けます。



○クラッチカバーをR. クランクケースカバーにはめ込み、ソケットキャップスクリュー 6x15 で取り付け、規定トルクで締め付けます。

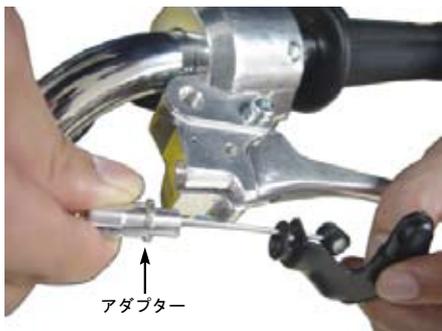
▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
ソケットキャップスクリュー  
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



(クラッチケーブルの取り付け)

別売りのクラッチケーブルアダプターを使用し、ノーマルクラッチレバーに装着する場合

○クラッチケーブル COMP. をクラッチケーブルアダプターに通し、クラッチレバーに取り付けます。

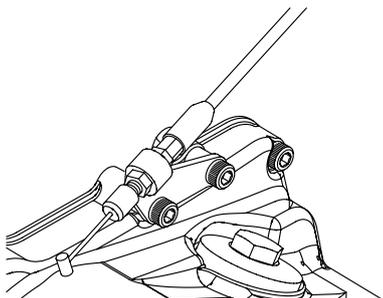


弊社製クラッチレバーを使用する場合

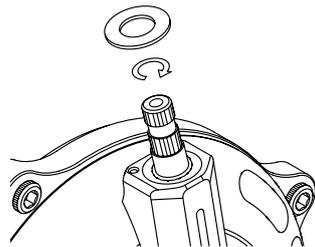
○クラッチレバーにクラッチケーブルを取り付け、ケーブルに無理が掛からないようにクラッチケーブルレシーバーまで取り回します。



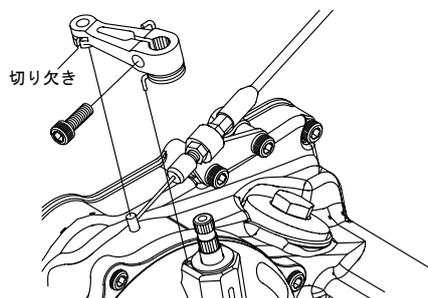
○クラッチケーブルのアジャスター部をケーブルレシーバーに取り付けます。



○クラッチリリースピニオンを時計回りに止まる位置まで回転させ、リリースピニオンにブレンワッシャを入れます。



○リリースアームにケーブルエンドを取り付け、クラッチアームスプリングをセットし、インナーケーブルを引っ張った状態でリリースユニオンに差し込み、クラッチアームスプリングをリリースユニット COMP. の穴に差し込みます。(リリースアームのケーブルエンド取り付け部にある切り欠きが下側になるようにします。)

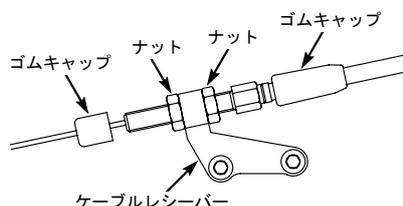


○リリースアームにソケットキャップスクリュー 6x18 を取り付け、アームを押し込んだ状態でボルトを規定トルクで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
ボルト  
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

○クラッチケーブルのアジャスト部でクラッチの遊びを調整し、ナットを規定トルクで締め付けて、ゴムキャップをそれぞれ被せます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
ナット  
トルク：10N・m (1.0kgf・m)  
クラッチの遊び：クラッチレバー先端で 10 ~ 20mm



○エンジン停止状態でトランスミッションを1速にシフトし、クラッチレバーを握った状態で車両を動かした際、リアホイールが回転し、クラッチレバーを放した状態でリアホイールが回転しない事を確認して下さい。